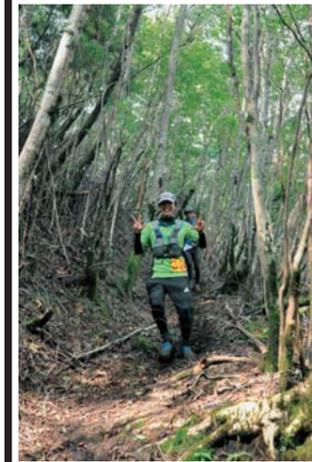




### ～九州脊梁山脈トレイルラン～

9月23日、九州の尾根を駆け抜けた九州脊梁山脈トレイルラン。5回目を迎え、「九州選手権」と銘打った今大会。全国から参加した選手は、大地を踏みしめ、神々しい原生林の中を、秋風と共に駆け抜けました。写真はトップでゴールテープを切った楠吉博さん(熊本市)。

(28ページに関連記事)



エキスパート部門に出場した岸本竜彦さん

女性の参加も年々増えています。

## 九州の尾根を駆け抜ける九州脊梁山脈トレイルラン

清流館(緑川)をスタート・ゴールとし、適度な距離と高低差、さらに抜群の景観が好評の「九州脊梁山脈トレイルラン」。その第5回目となる大会が、9月23日に開催され、全国から集まった370人のランナーが全長35km、高低差1,000mを超える過酷なコースを、8時間という制限時間内のゴールを目指しました。

5回目を迎えた今大会から、エキスパート部門を新設。過去の大会の上位選手がエントリーしました。この部門には町内から岸本竜彦さん(浜町)が参加。岸本さんは4時間54分でこの部門で29位に入りました。

エキスパート部門で優勝したのは、楠吉博選手(熊本市)でタイムは3時間36分。女性の部トップは山崎広美選手(福岡県)で4時間33分でした。大きな事故やケガもなく、350人が完走を果たしました。山都町からは岸本さんをはじめ13人が参加しています。



エイドステーションでは地域の方々がおもてなし



倒木などが選手の行く手を阻みます



各クラス上位選手への副賞は緑川地区で採れた新米

← 午前7時にエキスパート部門が清流館をスタート

### Contents 主な内容

4P～7P …23年度町の決算

12P～13P …まちの話題

16P～17P …町民スポーツ大会・薪文楽

20P～21P…金婚夫婦表彰

24P～25P…すくすく育て・4歳児歯科健診

28P …九州脊梁山脈トレイルラン